

平成 28 年度 奈良県学力・学習状況調査における生駒市立学校の調査結果について

生駒市教育委員会

今年度、奈良県は、すべての小中学校を対象に、「奈良県学力・学習状況調査」を下記のとおり実施しました。本市では、子どもたちの学力や学習状況を把握・分析し、学力向上や生活習慣等の改善につなげるため、本調査に参加しています。本調査の結果は児童生徒の学力の一部分を示しているものですが、分析結果から、成果と課題を明確にし、学校における教育指導の充実や学習状況の改善に役立てること、また、今後の教育施策に反映させていくことが重要であると考えます。この調査による生駒市の調査の結果について、以下の通り取りまとめました。

【調査日】

平成 28 年 4 月 19 日（火）

【調査内容】

＜教科に関する調査＞

国語 : 主として知識と活用に関する問題

算数・数学 : 主として知識と活用に関する問題

＜質問紙調査＞

生活習慣や学習環境等に関する調査(児童生徒質問紙調査)

指導に関する取組や教育環境等に関する調査(教員質問紙調査)

【調査対象】

市内 12 小学校 4 年生 1,236 名

市内 8 中学校 1 年生 1,099 名

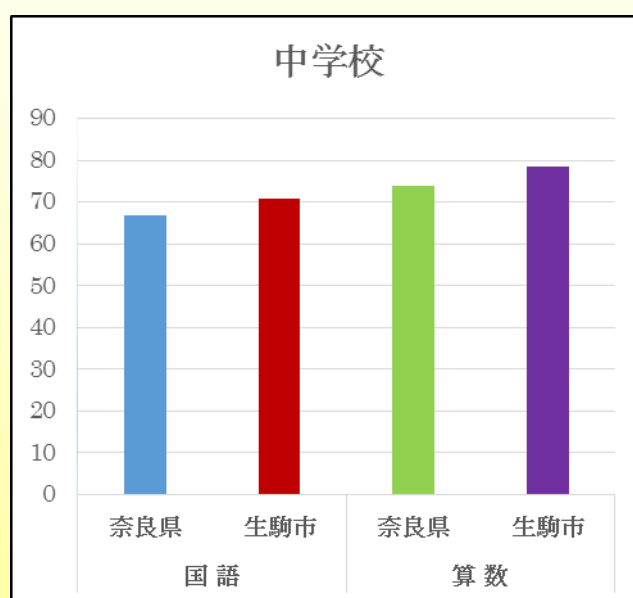
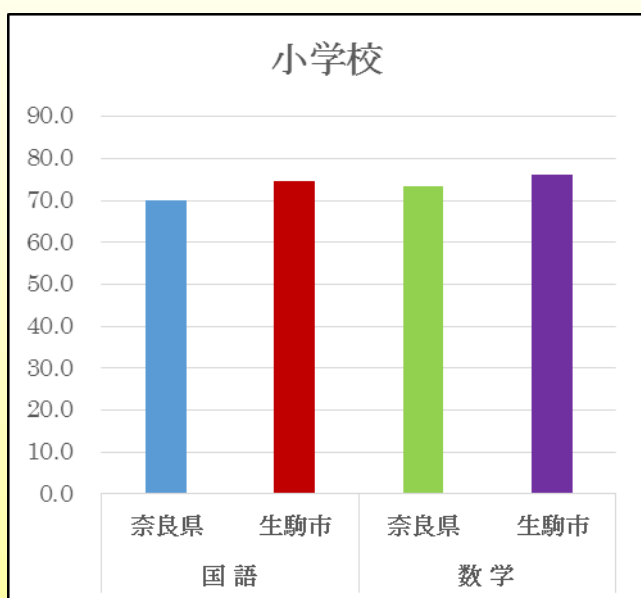
【調査結果】

<教科に関する調査結果の概要>

【平均正答率】

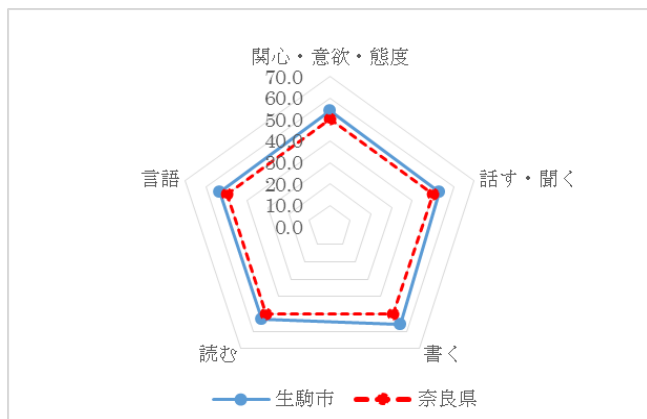
- 小中学校ともに、国語、算数・数学のすべての調査について、平均正答率が奈良県を上回っています。

	小学校		中学校	
	国語	算数	国語	数学
生駒市	74.7	76.2	70.8	78.5
奈良県	70.0	73.5	66.9	74.0

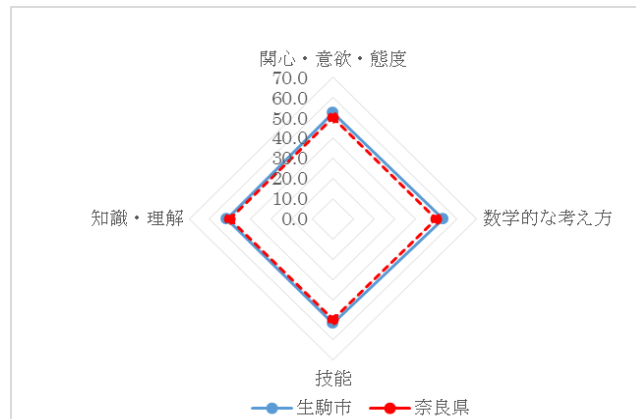


県を基準(50)とした領域別換算値の比較

小学校 国語

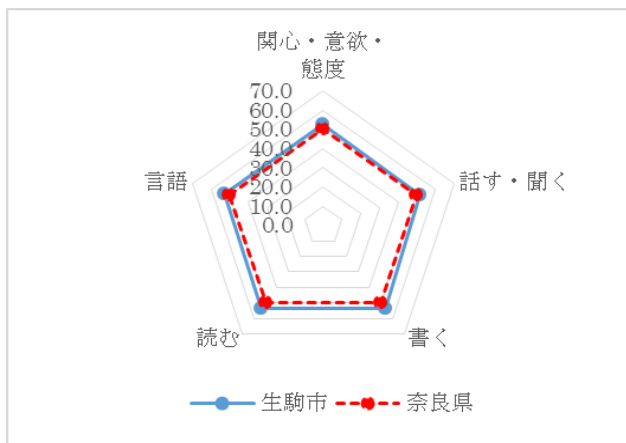


小学校 算数

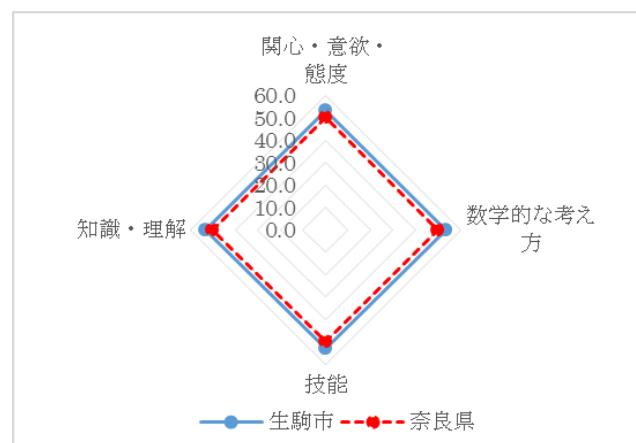


- 小学校は、国語、算数ともにすべての領域において、奈良県を上回っています。
- 書くことに関する領域は県よりも高いですが、奈良県全体としてこの領域に弱さが見られます。
- 質問紙調査を見ると、ほとんどの児童が授業で先生の話の話を聞いていると答えています。生駒市は、学習に対する関心・意欲・態度が高い傾向にあります。
- 国語や算数の宿題をきちんとしていると答えている児童が大多数を占めます。すべきことはきちんとするという意識は身につけているようです。

中学校 国語



中学校 数学



- 中学校も、国語、数学ともにすべての領域において、奈良県を上回っています。
- 書くこと、読むことに関する領域は県よりも高いですが、県全体としてこれらの領域に弱さが見られます。
- 質問紙調査から、学習に対する関心・意欲は高くないことがわかります。
- 一方で、学習の際には先生の話をしっかり聞いたり、きちんとノートをとったりしていると答える生徒は多く、学習に取り組む姿勢は身につけているようです。

生駒市小中学校児童生徒の学習状況

< 児童生徒質問紙調査の結果の概要 >

生活について

- 生活について、ほとんどの児童生徒が朝食をきちんと取っています。中学生になると朝食をとらない生徒の割合が少し増えています。また、夜に時刻を決めて寝ている児童はあまり多くなく、睡眠時間をきちんと確保する事に対して意識はあまり高くないようです。朝はきちんと起きて朝食はとれているものの、約4人に1人の児童生徒が「毎日同じくらいの時刻に寝ていない」と回答しており、就寝時刻に不規則な傾向がみられます。
- 普段（月～金）、1日あたり1時間以上テレビゲームをしている児童生徒の割合は、県よりも低くなっています。中学1年生は、県よりも4ポイント低くなっていますが、小学4年生より11.6%増加しています。

行動や考え方について

- 生駒市の児童生徒は、家の人や学校の先生にあいさつをすると答えた割合が、県よりも高くなっています。また、自分の住んでいる地域のことを好きと答えた割合も、県よりも高くなっています。それに合わせて、地域の行事に参加する児童生徒の割合も、県よりも高くなっています。
- 学校のきまりを守ろうとする意識は、小学生は県よりも高く、中学生は県とほぼ同じ割合となっています。
- いじめはどんな理由があってもいけないと思う児童生徒はとて多く、県よりも高い割合になりました。しかし、思わないと答えた児童生徒もいますので、引き続き指導が必要です。
- 自分のことが好きで、自分には良いところがあると考えている児童生徒は、共に県の割合よりも高くなっています。しかし、数値的にはそれほど高くないので、子どもたちに自信を持たせられるような指導をこれからも行っていく必要があります。
- 困ったことがあったとき、誰に相談しますかとの質問に、小学4年生の約6割が親と回答したのに対して、中学1年生では約5割と割合が低くなる一方、友達との回答が16.6%から33.2%と2倍の割合となっています。

学習について

- 小学校では、国語・算数の勉強が好きと答えた児童の割合は、県よりも少し高くなっています。また、児童生徒が家庭学習に割く時間の割合も、県よりも高くなっています。
- 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと思う児童生徒の割合は、県よりも高くなっています。
- 授業のはじめにめあてやねらいが示されていると答えた児童生徒の割合は県よりもやや高くなっていますが、授業の最後に学習内容をふり返る活動をよく行っていたと答えた児童生徒の割合は県よりもやや低くなっています。
- 普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと答えた児童生徒の割合は、県よりもやや多いです。また市内では小学生よりも中学生のほうが3.6%高くなっています。

- 国語、算数・数学の学習では、きちんとノートをとっていると答えた児童の割合は県の割合より高くなっている一方、中学校では、県の割合よりも低くなっています。
- 読書に対する意識も高くなり、小中学生とも読書が好きと答えた児童生徒の割合は、県よりも高くなっています。
- 家で、自分で計画を立てて勉強していると答えた児童生徒の割合は、県よりも高くなっています。
- 生駒市の児童生徒は塾に通っている割合が高く、小学生で 56.9%、中学生で 71.0%であり、県平均よりも高くなっています。
- 家には、落ち着いて勉強する場所がある答えた児童生徒の割合は県より高く、小学校で 85.9%、中学校で 90.8%となっています。
- 学習用具や学校のプリントなどは自分で整理していると答えた割合も県より高く、小学生では 81.5%、中学生では 90.8%となっています。

H28年度 生駒市の取組について 課題改善に向けての取組について

< 生駒市の課題改善に向けての取組 >

生駒市では、全国学力・学習状況調査、奈良県学力・学習状況調査の結果から明らかになった課題改善に向けて、市教育委員会と小・中学校が連携し取組を進めています。

(1) きめ細かな指導の充実

小学校1年生で30人学級、2年生で35人学級を実施し、少人数学級編成によるきめ細かな指導に取り組み、学力向上や生徒指導の充実を図っています。また、子ども一人ひとりの実態に応じて学びのサポーターや特別支援教育支援員を配置して学習指導を支援したり学校生活の支援や補助をしたりしています。

(2) 教育内容の充実

伝え合う力の育成の一環として、小学1年生からネイティブ外国人の指導助手と一緒に英語に親しむ外国語活動に取り組みます。また、小中学校で各1校をICT機器活用授業研究モデル校に指定し、研究を進めていきます。

(3) 学校図書館司書の配置

全小中学校に週2~3日学校図書館司書を配置し、読み聞かせやブックトークを行っています。子どもに読書の楽しさを感じさせることで、中学生の読書離れを改善していきます。

(4) 地域ぐるみの児童生徒健全育成推進協議会

学校・保護者・地域が連携し、児童生徒の健全育成を目指し取り組んでいます。中学校ごとに「子育て講演会」の実施や地域と子どもが協力し合って行う清掃活動、「地域、ふれあい、WAKU・WAKU交流会」など、地域の人材を活用しながら児童生徒の自己有用感を高め、規範意識の醸成を図っています。

(5) いじめ防止の取組に関する調査を活用した取組

毎年6月をいじめ防止月間と定めて、市で教員対象にした研修会を実施しています。また、個人面談など、小中学校独自の取組を行い、いじめの早期発見、早期改善に努めています。いじめ防止に関するアンケートで明らかになったいじめ事象一つ一つに対応し改善を図っています。いじめの状況によっては、スクールカウンセラーなどを派遣し関係機関とも連携しながら丁寧に取り組んでいます。

(6) 教員研修の充実

生駒市教育委員会主催の研修会を実施し、教員の資質向上を図ります。また、各校で授業研究を中心とした校内研修を実施し、自分の考えを発表することや、友達と話し合う活動を取り入れる授業のあり方を研究する取組を行っています。

(7) 奈良先端科学大学院大学との連携による理科教育の充実

先端科学への興味関心を高めることをねらいとして、全ての中学校で先端大での特別授業や大学教員等による出前授業を行い、理科教育への関心が高まる取組を進めています。

(参考)

平成28年度 全国学力・学習状況調査 報告書・調査結果資料（国立教育政策研究所）

<http://www.nier.go.jp/16chousakekkahoukoku/index.html>

全国学力・学習状況調査（奈良県教育委員会）

<http://www.pref.nara.jp/11935.htm>

《問い合わせ先》

生駒市教育委員会事務局 教育振興部 教育指導課 0743-74-1111(内線 632)

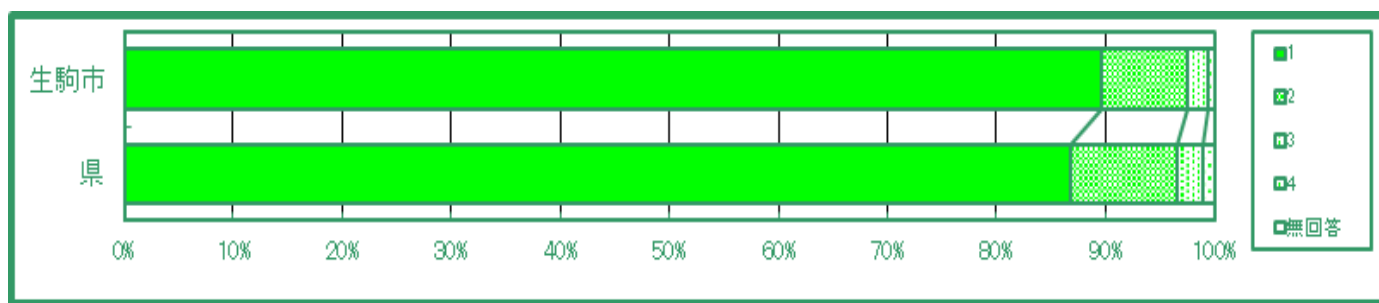
平成 28 年度奈良県学力・学習状況調査（児童生徒質問紙調査結果）

(1). 朝食を毎日食べていますか。

小学校

朝食を毎日食べていますか。

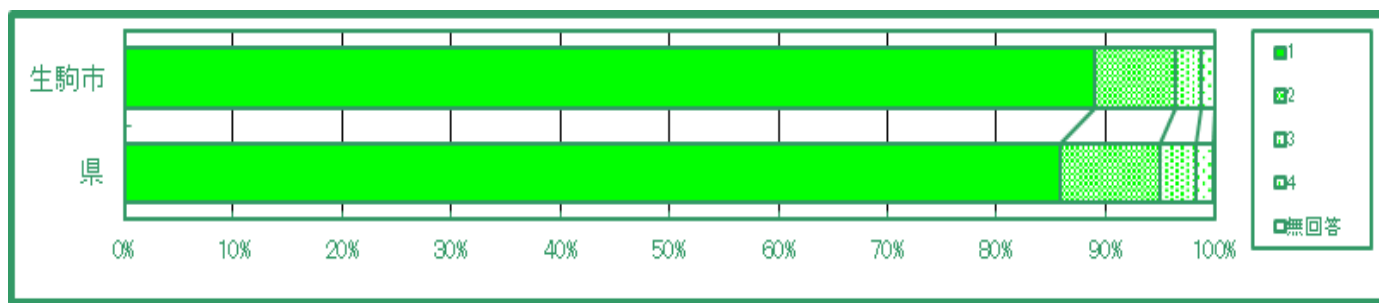
	1 している	2 どちらかといえば、 している	3 どちらかといえば、 していない	4 していない	無回答
生駒市	89.7	7.9	1.8	0.6	0
県	86.7	9.8	2.4	1	0



中学校

朝食を毎日食べていますか。

	1 している	2 どちらかといえば、 している	3 どちらかといえば、 していない	4 していない	無回答
生駒市	89.1	7.4	2.4	1.2	0
県	86	9.1	3.4	1.5	0.1



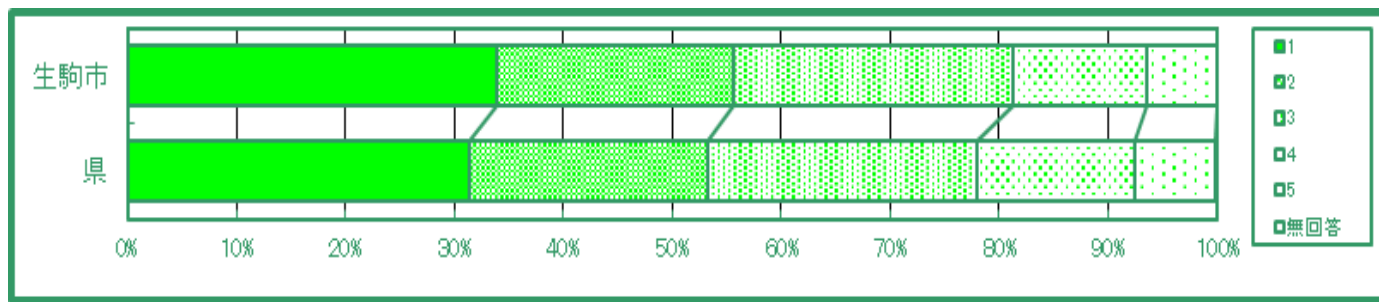
- 市内の小中学生の9割が朝食を毎日食べて登校しています。基本的な生活習慣が身につけていることがうかがえる数字です。しかし、小学校では「どちらかといえば、していない」「していない」と2.4%の児童が、中学校では「どちらかといえば、していない」「していない」と3.6%の生徒が答えています。引き続き各小中学校で、食育に関わる取組を進めていきます。

(2). 学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

小学校

学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

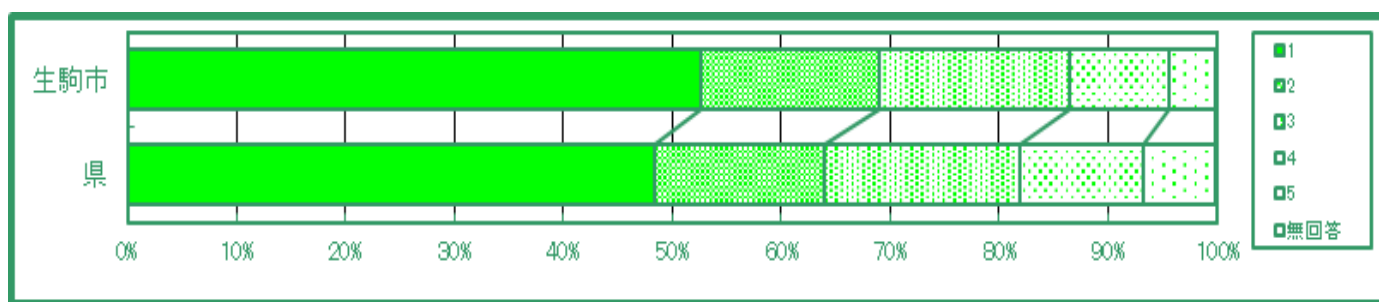
	1 1時間以上	2 40分以上、 1時間より少ない	3 20分以上、 40分より少ない	4 20分より少ない	5 全くしない	無回答
生駒市	33.8	21.8	25.5	12.4	6.4	0
県	31.3	21.9	24.8	14.4	7.5	0.1



中学校

学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

	1 1時間以上	2 40分以上、 1時間より少ない	3 20分以上、 40分より少ない	4 20分より少ない	5 全くしない	無回答
生駒市	52.6	16.4	17.5	9.1	4.4	0.1
県	48.4	15.6	17.9	11.3	6.7	0.1



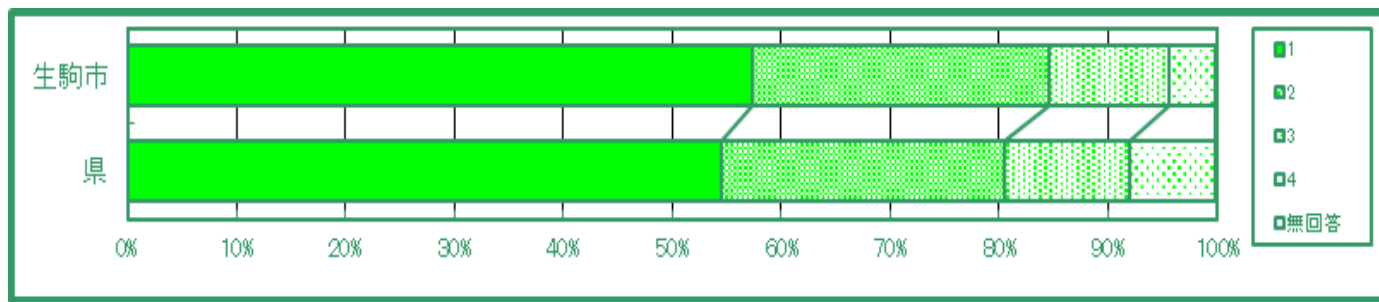
- ・ 小学校の場合、家庭学習の時間は半数以上の児童が40分から1時間以上と答え、ほぼ標準的な時間と思われます。一方、中学校の場合、半数以上の生徒が1時間以上と答え、小学生よりも学習時間は長い傾向にあります。中学生になると塾に通う生徒が増えることも影響があると思われます。

(3). 読書は好きですか。

小学校

読書は好きですか。

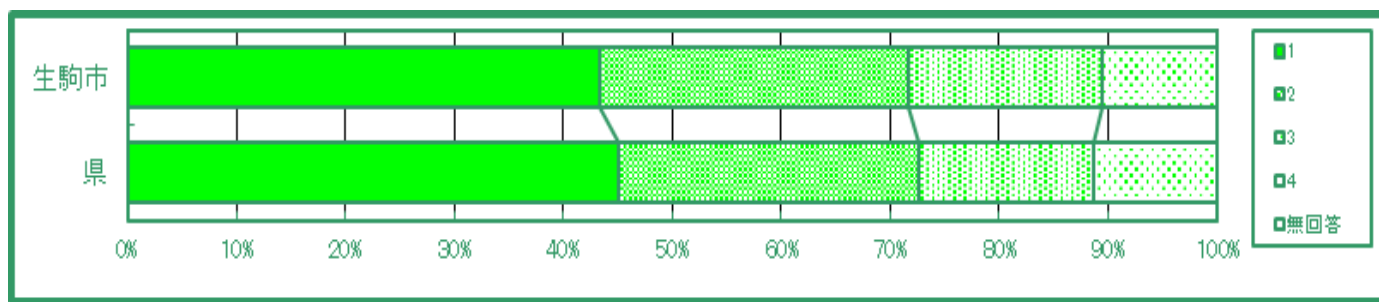
	1 すき	2 どちらかといえば、 すき	3 どちらかといえば、 きらい	4 きらい	無回答
生駒市	57.4	27.3	10.9	4.3	0.2
県	54.5	26	11.4	8	0.1



中学校

読書は好きですか。

	1 すき	2 どちらかといえば、 すき	3 どちらかといえば、 きらい	4 きらい	無回答
生駒市	43.4	28.4	17.7	10.6	0
県	45	27.6	16	11.4	0



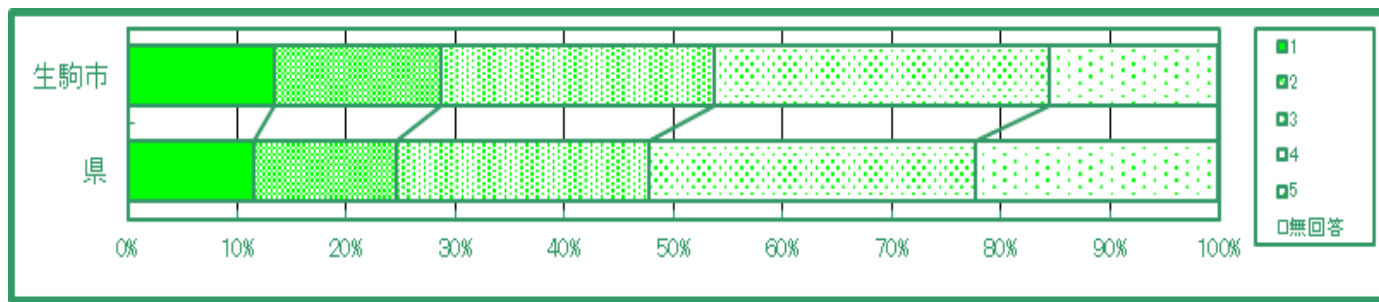
- ・ 小学校では6割近くの児童が読書が好きと答えています。「どちらかといえば、すき」と答える児童を合わせると8割以上の児童が読書を好きと答え、県の割合を上回っています。一方、中学校では、「好き」と答える生徒が半数以下となっています。
- ・ 全小中学校学校で図書館司書による読み聞かせやブックトークの充実を図り、子どもが読書の楽しさを感じる取組を、今後も進めていきたいと思います。

(4). 学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。

小学校

学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。

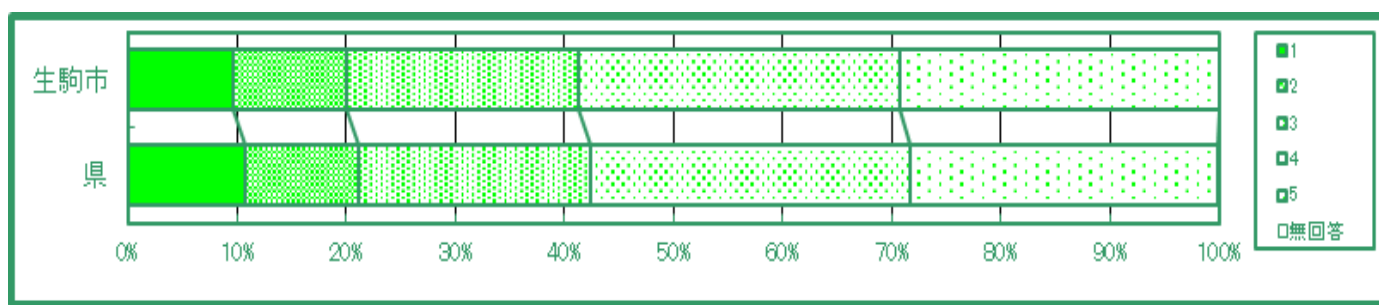
	1 1時間以上	2 40分以上、 1時間より少ない	3 20分以上、 40分より少ない	4 20分より少ない	5 全くしない	無回答
生駒市	13.5	15.3	25	30.8	15.3	0.2
県	11.5	13.1	23.2	29.9	22.3	0.1



中学校

学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。

	1 1時間以上	2 40分以上、 1時間より少ない	3 20分以上、 40分より少ない	4 20分より少ない	5 全くしない	無回答
生駒市	9.7	10.4	21.2	29.4	29.3	0
県	10.8	10.4	21.1	29.3	28.2	0.1



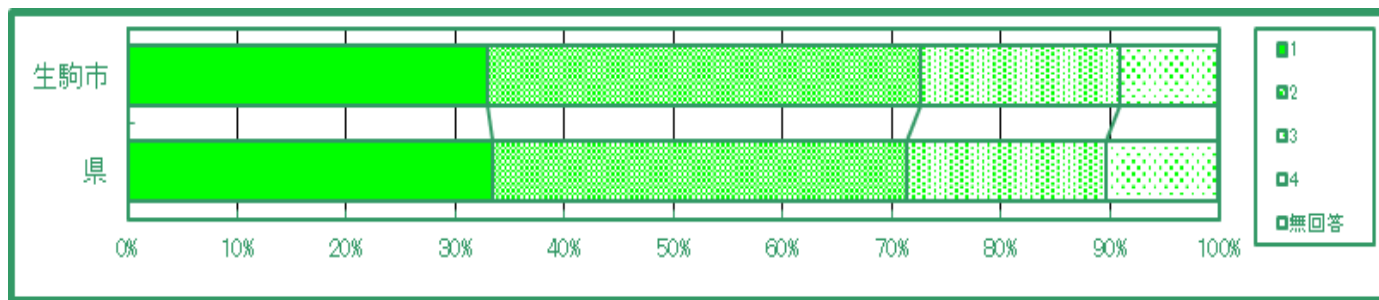
- ・ 小学校では 15.3%の児童が、中学校では 29.3%の生徒が、普段は全く読書をしないと答えています。また、小学4年生から中学1年生で、その割合は倍増しており、中学生になってからの読書離れが見受けられます。
- ・ 小学生では県全体よりも読書をする時間の割合が高くなっていますが、中学生では県全体よりも読書をする時間の割合が低くなっています。
- ・ 前出の読書が好きと答えた児童生徒の割合と、児童生徒が読書する時間の長さの割合には、相関関係があると考えられます。

(5). 疑問に思ったことは自分で調べてみようと思いますか。

小学校

疑問に思ったことは自分で調べてみようと思いますか。

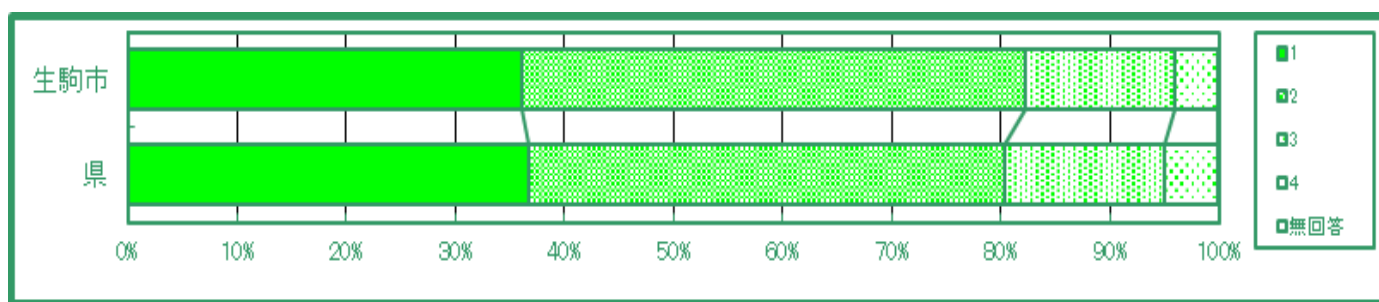
	1 思う	2 どちらかといえば、 思う	3 どちらかといえば、 思わない	4 思わない	無回答
生駒市	32.9	39.7	18.3	9	0.1
県	33.4	38	18.2	10.3	0.1



中学校

疑問に思ったことは自分で調べてみようと思いますか。

	1 思う	2 どちらかといえば、 思う	3 どちらかといえば、 思わない	4 思わない	無回答
生駒市	36.2	46.1	13.8	3.9	0.1
県	36.7	43.7	14.7	4.9	0.1



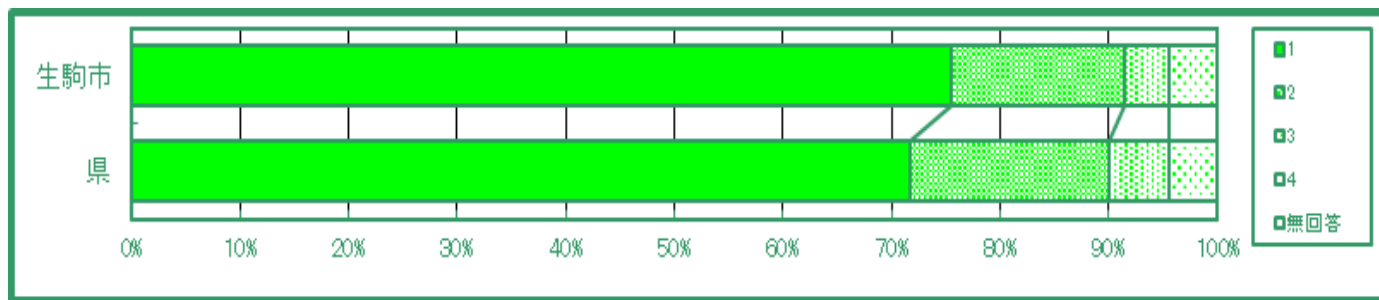
- ・ 「どちらかといえば、思う」を含めると、小学生では約7割の児童が、中学生では約8割の生徒が、疑問に思ったことは自分で調べてみようと思うと答えています。学年が上がるにつれ、子どもたちの探究心も高まりが見受けられます。

(6). ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか。

小学校

ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか。

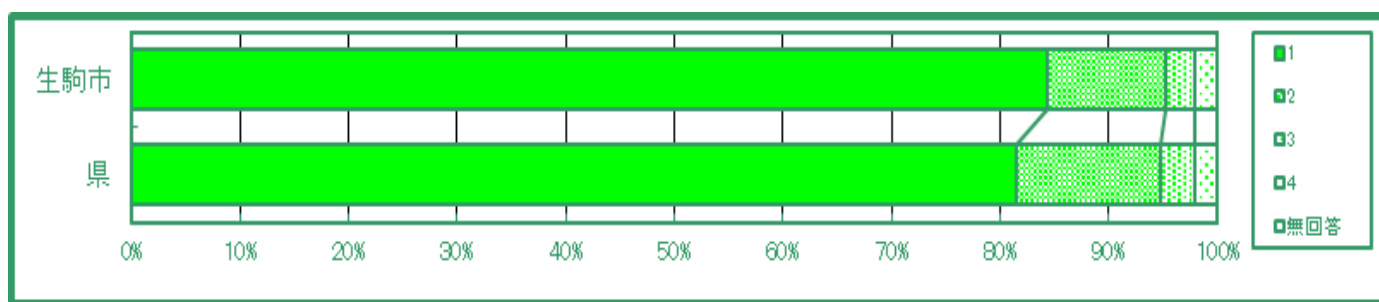
	1 ある	2 どちらかといえば、 ある	3 どちらかといえば、 ない	4 ない	無回答
生駒市	75.4	16	4.1	4.4	0
県	71.7	18.4	5.4	4.5	0



中学校

ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか。

	1 ある	2 どちらかといえば、 ある	3 どちらかといえば、 ない	4 ない	無回答
生駒市	84.3	10.8	2.8	2	0
県	81.5	13.2	3.2	2.1	0



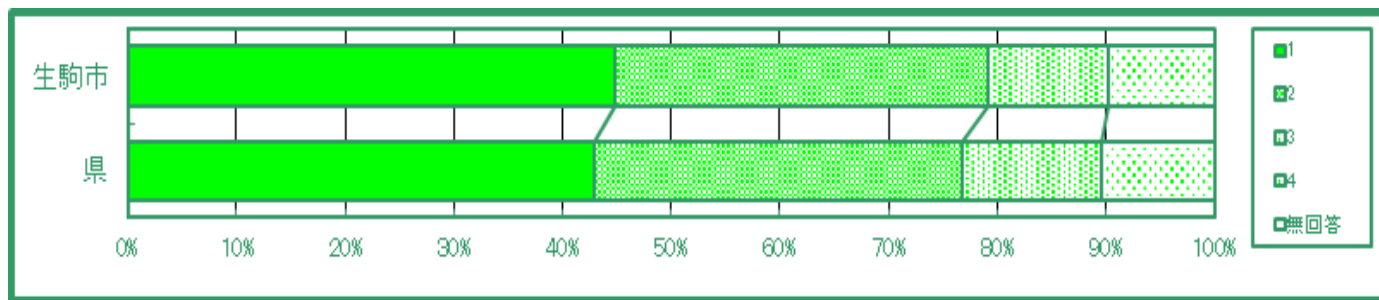
- ものごとを最後までやりとげてうれしかったことがあると、小学校では 75.4%の児童が、中学校では 84.3%の生徒が答えています。「どちらかといえば、ある」と答える児童生徒を含めると、9 割以上の児童生徒が成功体験を持っていると言えます。

(7). 自分には、よいところがあると思いますか。

小学校

自分には、よいところがあると思いますか。

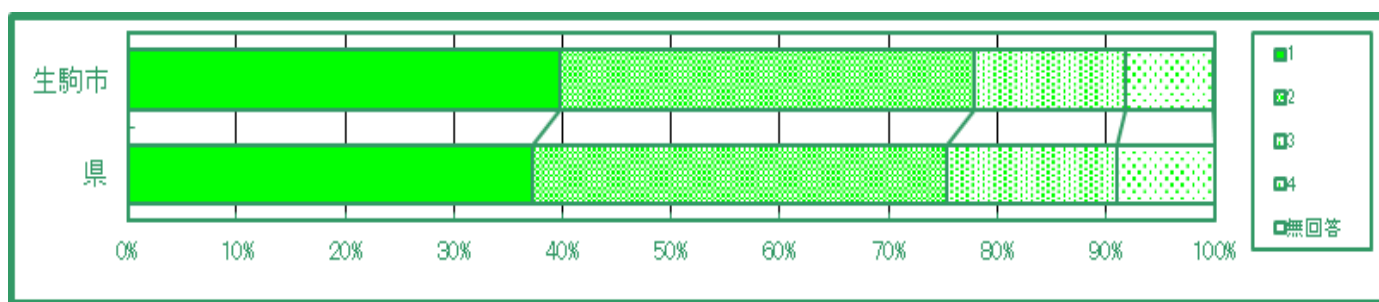
	1 思う	2 どちらかといえば、 思う	3 どちらかといえば、 思わない	4 思わない	無回答
生駒市	44.8	34.4	11.1	9.7	0
県	42.9	33.9	12.8	10.4	0



中学校

自分には、よいところがあると思いますか。

	1 思う	2 どちらかといえば、 思う	3 どちらかといえば、 思わない	4 思わない	無回答
生駒市	39.7	38.2	14	8	0.1
県	37.2	38.1	15.7	9	0



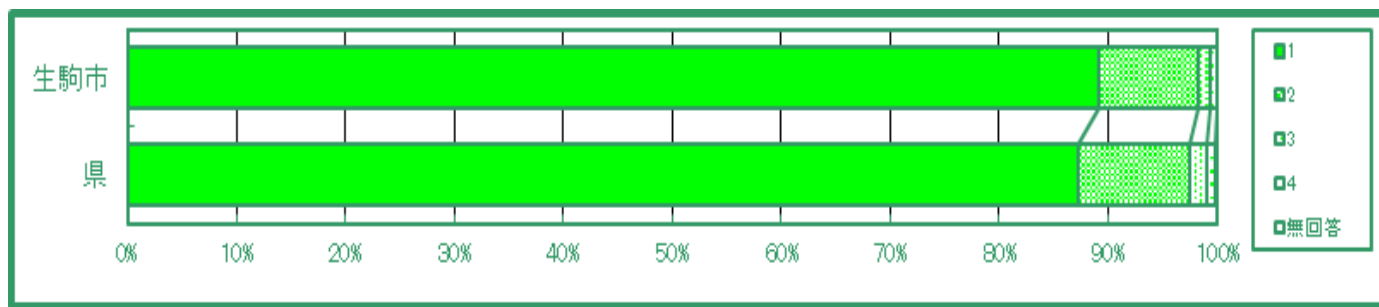
- ・ 7割以上の児童生徒が、自分にはよいところがあると思うと答えています。しかし、中学生になると「思う」と答える生徒が小学生に比べると5.1ポイント下がっています。
- ・ 前出の問いで9割以上の児童生徒が成功体験をしています。それらが、今後自己肯定感の高まりに繋がればよいと考えます。

(8). いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

小学校

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

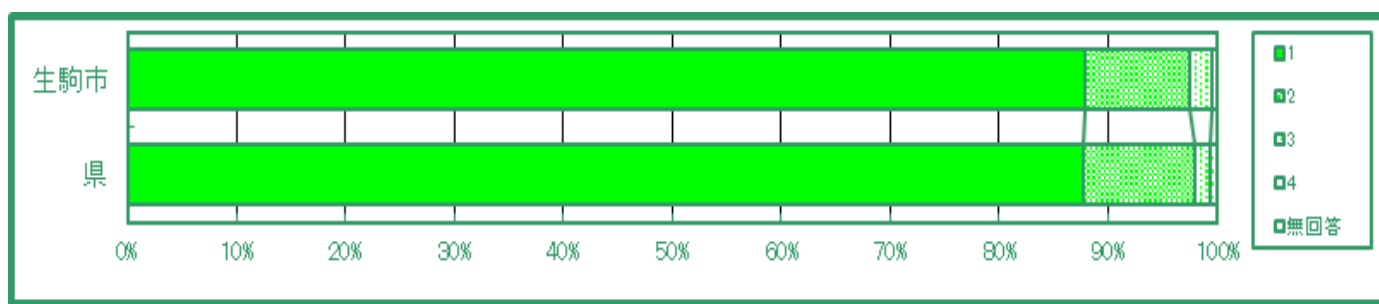
	1 思う	2 どちらかといえば、 思う	3 どちらかといえば、 思わない	4 思わない	無回答
生駒市	89.2	9.2	1.1	0.6	0
県	87.3	10.2	1.6	0.9	0.1



中学校

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

	1 思う	2 どちらかといえば、 思う	3 どちらかといえば、 思わない	4 思わない	無回答
生駒市	87.8	9.6	2.1	0.5	0
県	87.6	10.2	1.4	0.7	0



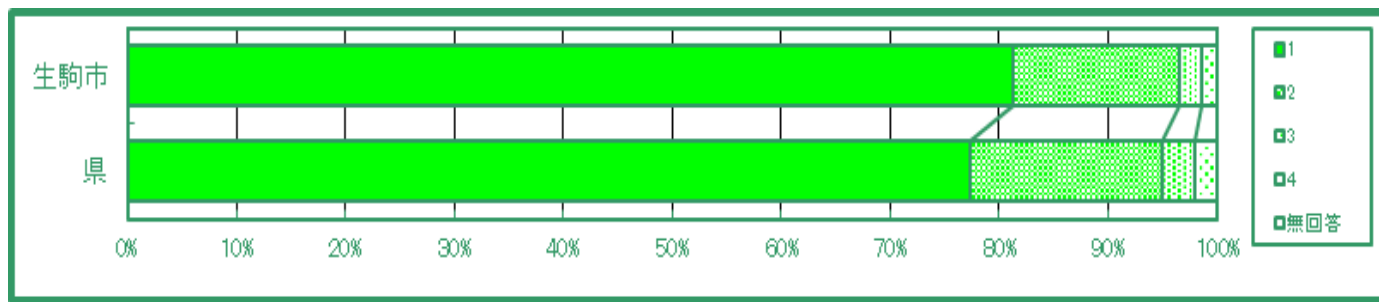
- ・ いじめはいけないと思っている児童生徒は 97%を超えました。いじめはいけないものという認識はかなり高いものと思われます。ただ、何がいじめにあたるのか、どんな行為が人を傷つけてしまうのかをきちんと理解することが課題といえます。
- ・ また、2%の児童生徒がいじめを認める回答をしています。これからも、いじめを許さない気持ちを育てていく指導が大事だと考えます。

(9). 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

小学校

人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

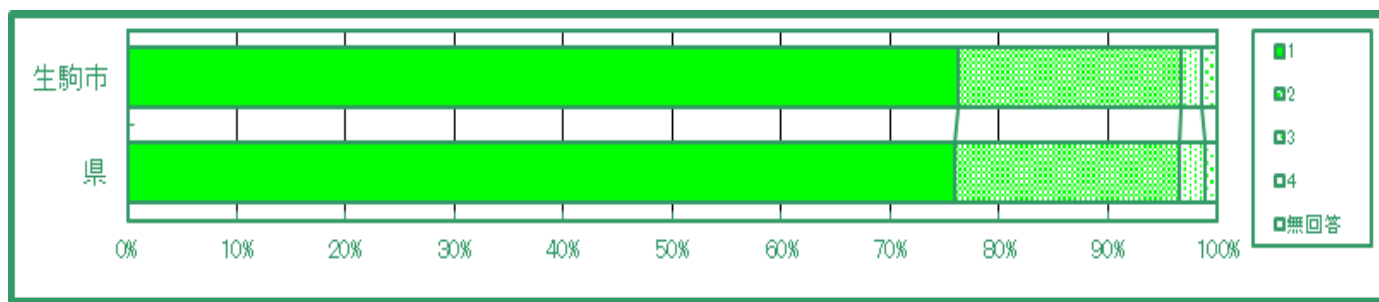
	1 思う	2 どちらかといえば、 思う	3 どちらかといえば、 思わない	4 思わない	無回答
生駒市	81.2	15.4	1.9	1.5	0
県	77.3	17.6	3	2	0



中学校

人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

	1 思う	2 どちらかといえば、 思う	3 どちらかといえば、 思わない	4 思わない	無回答
生駒市	76.3	20.4	1.8	1.5	0
県	75.9	20.6	2.4	1.1	0



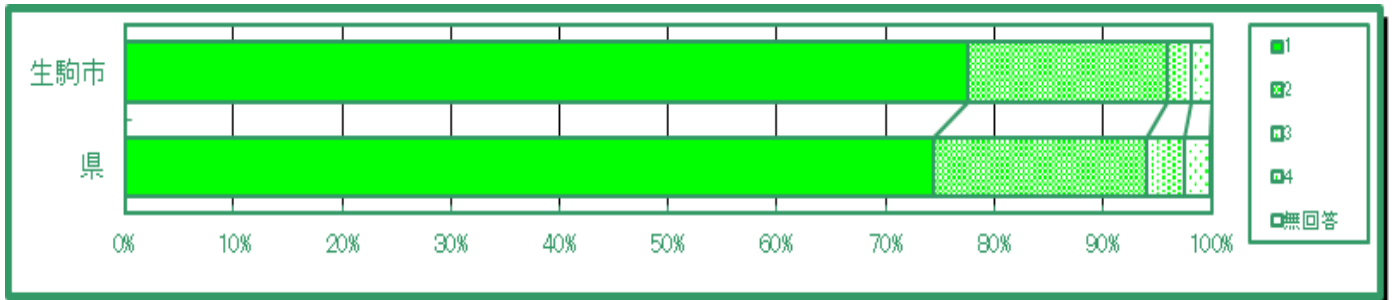
- ほとんどの児童生徒が人の役に立ちたいと思っています。これは、県平均を上回っています。人の役に立つと感じることで、自己有用感が高まると考えられます。

(10). 人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。

小学校

人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。

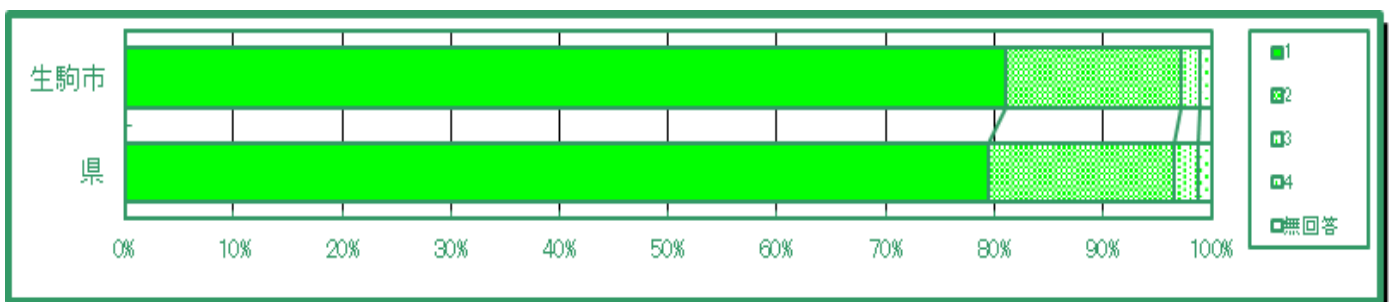
	1 思う	2 どちらかといえば、 思う	3 どちらかといえば、 思わない	4 思わない	無回答
生駒市	77.6	18.3	2.3	1.8	0
県	74.3	19.7	3.5	2.3	0.1



中学校

人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。

	1 思う	2 どちらかといえば、 思う	3 どちらかといえば、 思わない	4 思わない	無回答
生駒市	81	16.2	1.8	1	0
県	79.4	17.1	2.2	1.2	0



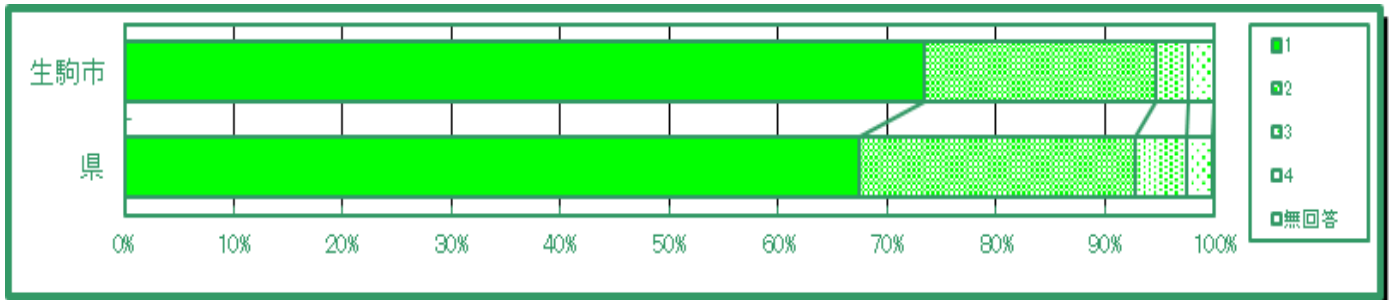
- ・ 約 8 割の児童生徒が人の気持ちが分かる人間になりたいと思うと答えています。中学生では「思う」と答えた生徒の割合が小学生より 3.4%高くなっています。学年が上がり、他者を気遣う意識の高まりが見られます。

(11). 自分の住んでいる地域のことが好きですか。

小学校

自分の住んでいる地域のことが好きですか。

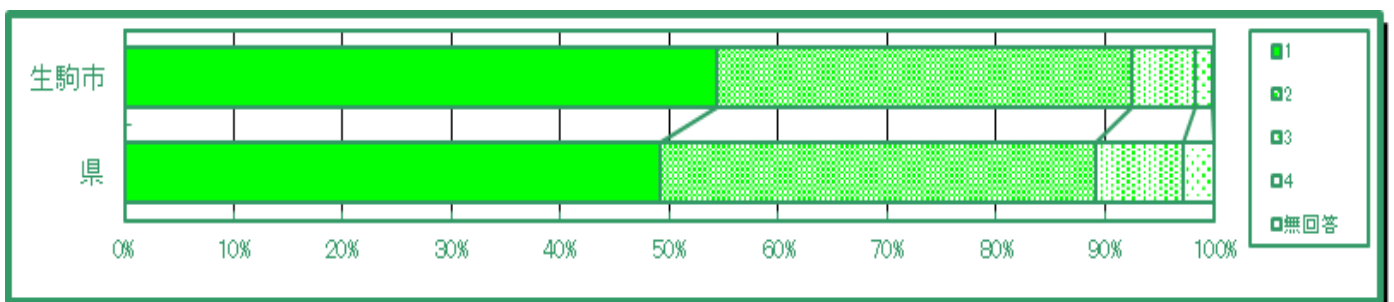
	1 すき	2 どちらかといえば、 すき	3 どちらかといえば、 きらい	4 きらい	無回答
生駒市	73.3	21.3	3	2.3	0
県	67.4	25.4	4.6	2.5	0.1



中学校

自分の住んでいる地域のことが好きですか。

	1 すき	2 どちらかといえば、 すき	3 どちらかといえば、 きらい	4 きらい	無回答
生駒市	54.3	38.2	5.7	1.7	0.1
県	49.2	39.9	8	2.9	0



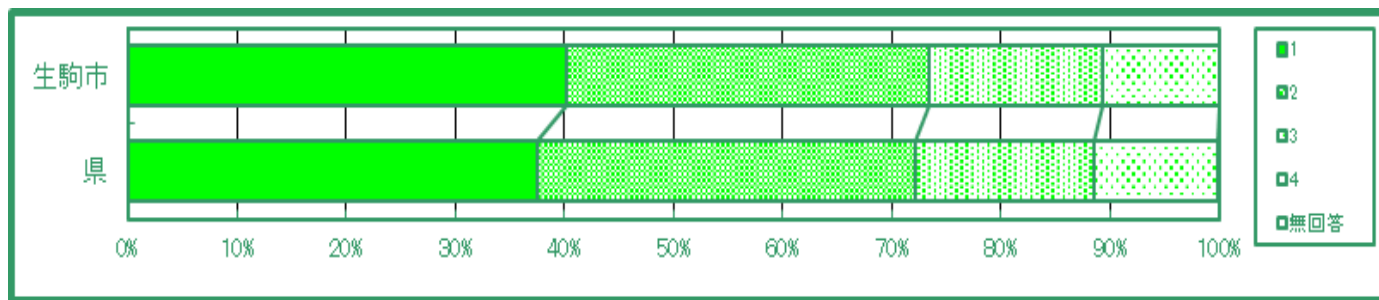
- ・「どちらかといえば、すき」を含めると、実に90%以上の児童生徒が自分が住んでいる地域が好きだと答えています。中学生は、小学生に比べると生駒市が好きだと答えた生徒の割合が低くなっていますが、県平均と比べると、小中学生共に自分が住んでいる地域が好きな子どもの割合が多いことがわかります。

(12). 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか。

小学校

地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか。

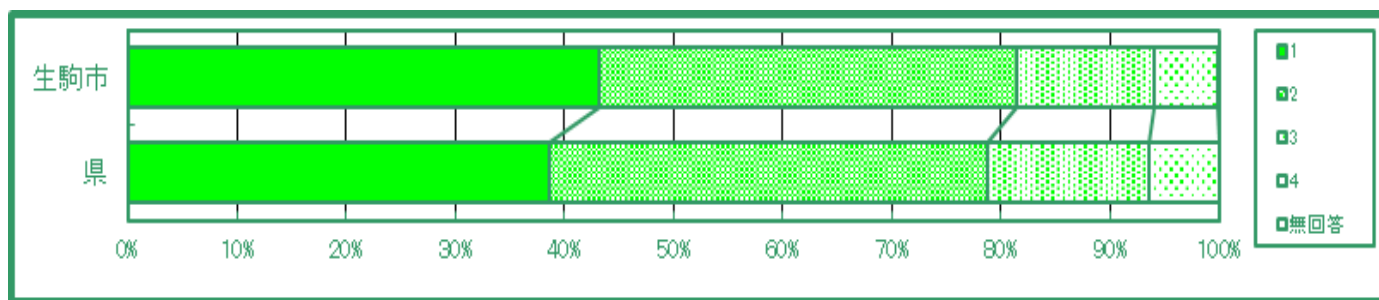
	1 ある	2 どちらかといえば、 ある	3 どちらかといえば、 ない	4 ない	無回答
生駒市	40.2	33.2	16	10.6	0
県	37.6	34.6	16.4	11.3	0.1



中学校

地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか。

	1 ある	2 どちらかといえば、 ある	3 どちらかといえば、 ない	4 ない	無回答
生駒市	43.2	38.3	12.7	5.8	0.1
県	38.6	40.1	14.8	6.4	0



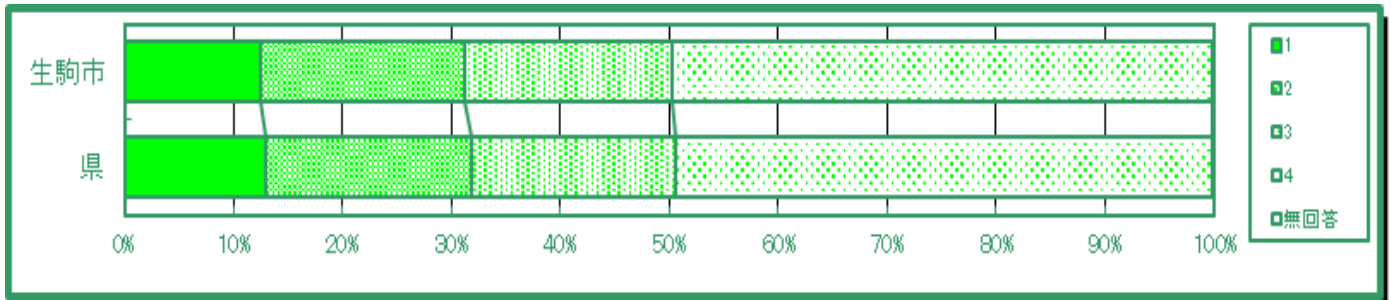
- ・ 「どちらかといえば、ある」を含めると、小学校で7割以上の児童が、中学校で8割以上の生徒が地域や社会で起こっている問題や出来事に関心があると答えています。
- ・ 県平均と比べると、小中学生共に、地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある子どもの割合が多いことがわかります。

(13). 新聞を読んでいますか。

小学校

新聞を読んでいますか。

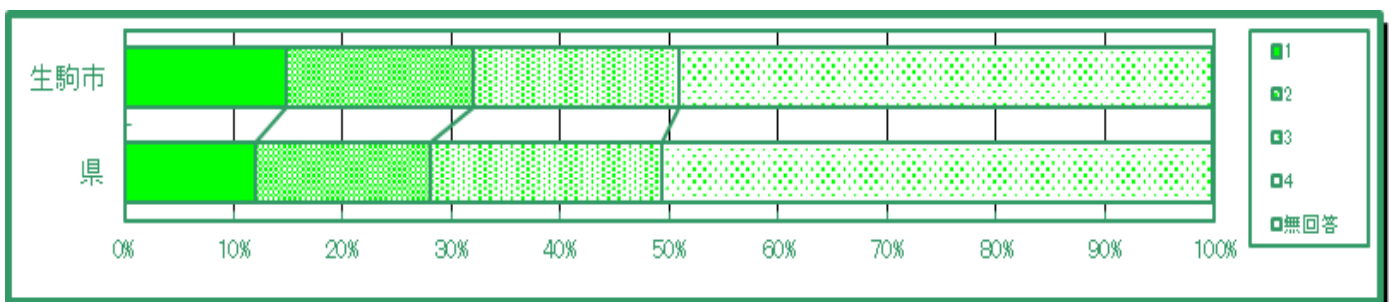
	1 読んでいる	2 どちらかといえば、 読んでいる	3 どちらかといえば、 読んでいない	4 読んでいない	無回答
生駒市	12.4	18.8	19	49.5	0.2
県	12.9	19	18.6	49.3	0.2



中学校

新聞を読んでいますか。

	1 読んでいる	2 どちらかといえば、 読んでいる	3 どちらかといえば、 読んでいない	4 読んでいない	無回答
生駒市	14.8	17.2	18.9	48.9	0.1
県	12.1	16	21.2	50.7	0.1



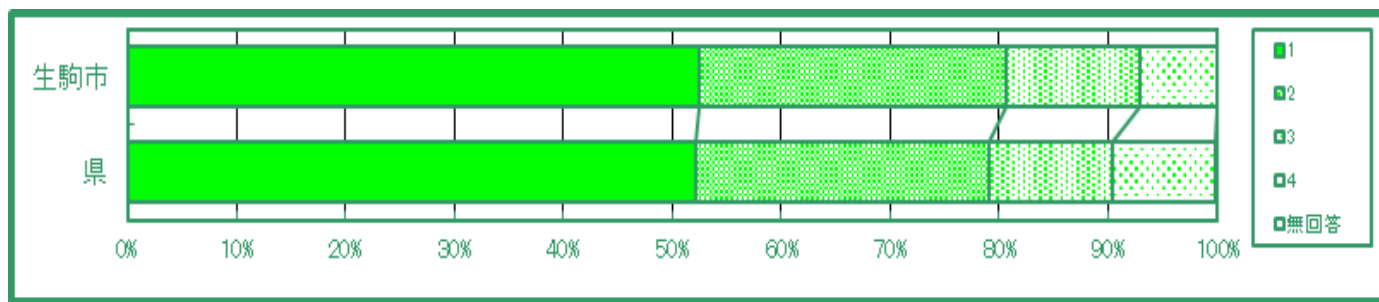
- ・ 「どちらかといえば、読んでいる」を含めても、約3割の児童生徒しか新聞を読んでいません。
- ・ 約半数の児童生徒が新聞を読んでいないと答えています。小学生では読んでいないと答えた児童の割合が県よりも高くなっています。しかし、中学生では読んでいないと答えた生徒の割合は県よりも低くなっています。

(14). テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか(携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合もふくむ)。

小学校

テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか。

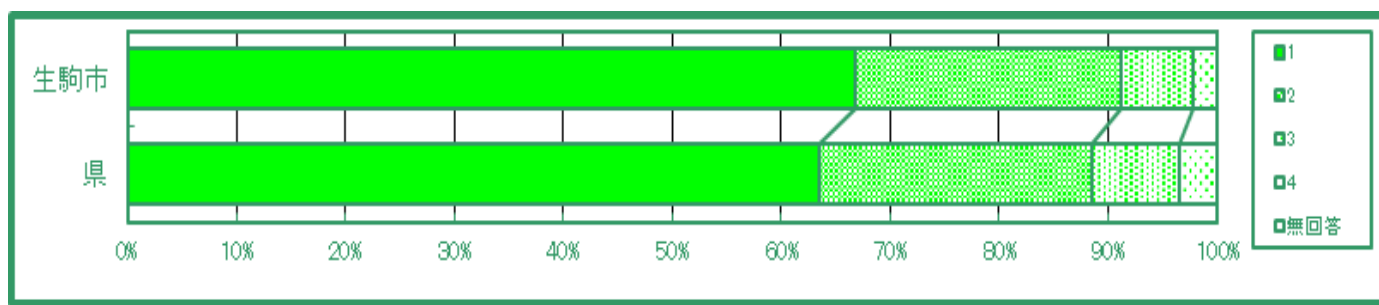
	1 見る	2 どちらかといえば、 見る	3 どちらかといえば、 見ない	4 全く見ない	無回答
生駒市	52.5	28.2	12.2	7.1	0
県	52.2	26.8	11.4	9.5	0.1



中学校

テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか。

	1 見る	2 どちらかといえば、 見る	3 どちらかといえば、 見ない	4 全く見ない	無回答
生駒市	66.8	24.4	6.6	2.2	0
県	63.5	25	8	3.5	0



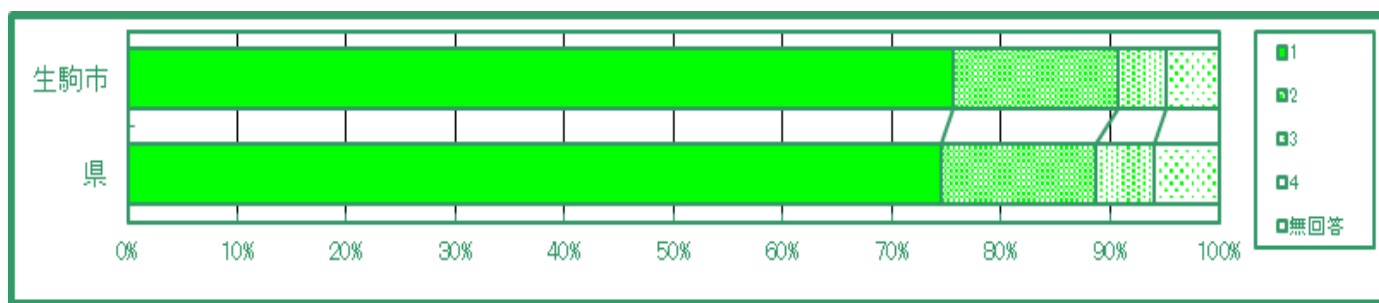
- ・ 「どちらかといえば、見る」を含めると、小学生で8割以上、中学生で9割以上がニュース番組やインターネットのニュースを見ています。学年が上がるにつれ、その割合が高くなっています。
- ・ 前出の質問で児童生徒の新聞離れが見られましたが、児童生徒はテレビやインターネットのニュースを通じていろいろな情報を得ていることがわかります。

(15). 将来の夢や目標をもっていますか。

小学校

将来の夢や目標をもっていますか。

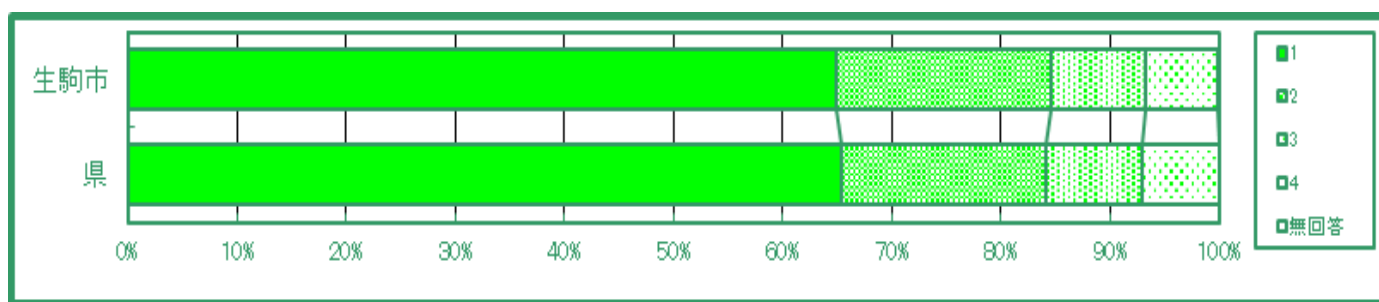
	1 もっている	2 どちらかといえば、 もっている	3 どちらかといえば、 もっていない	4 もっていない	無回答
生駒市	75.5	15.2	4.4	4.8	0
県	74.6	14.1	5.4	5.9	0



中学校

将来の夢や目標をもっていますか。

	1 もっている	2 どちらかといえば、 もっている	3 どちらかといえば、 もっていない	4 もっていない	無回答
生駒市	64.9	19.7	8.7	6.6	0.1
県	65.3	18.7	8.8	7.1	0



- 自分の将来について夢や希望を持っている児童生徒は比較的多いです。「どちらかといえば、もっている」と答えた児童生徒を含めると、小学校では県よりも2.0%、中学校では0.6%高くなっています。将来の夢や目標を持っていることは、主体的な学習態度や生活習慣につながります。まだ将来の夢や目標を持っていない児童生徒は、これからいろいろな経験を積んで将来に対する希望を見つけていくことと思われますが、自分の将来の夢や目標をもつことの大切さを指導することが、学校の役目だと考えます。